～運動会の振り返り～

１の１	「さ・ん・ぽ！」のダンスで最後の「ハッピー」を上手に言えました。５０メートル走で最後までコースを外れないで走りました。 「さ・ん・ぽ！」で、いつもよりもジャンプを高く跳べました。５０メートル走で、いつもよりも速く走れた気がしました。チェッコリ玉入れで、玉を入れられました。ほかの学年のお友達を応援できました。
１の２	「さ・ん・ぽ！」では、ジャンプや振り返るダンスの時に、体を大きく動かしておどることができました。５０メートル走は、「友達を追いこすぞ。」という気持ちで走りました。「チェッコリ玉入れ」は、思いっきり玉を上にまっすぐ投げることを頑張りました。８０メートル走や１００メートル走の時、お兄さんやお姉さんに向けて、気持ちを込めて応援をしました。お兄さんやお姉さんたちの走るすがたは、とてもかっこよく、応援できてうれしかったです。
２の１	玉入れでは、投げる場所や高さを工夫して、たくさん入れることができました。 ５０m走では、最後まで前を見て思い切り走ることができました。スタートダッシュを来年はもっと速くしたいです。 表現の縄跳びでは、二十跳びやあや跳びなどの技を、いつもの何倍も多く成功させることができました。ボールの渡し方や投げ方を友達と何回も練習したので、本番では一回も落とさず渡すことができました。
２の２	去年は体育発表会だったので、今年初めて運動会に出ました。どの競技も楽しかったです。 表現の「いろいろな花をさかせよう」では、最後のウェーブをきれいにするために、手をなるべく大きく広げました。当日は、とてもきれいにできたので、嬉しかったです。ボールの演技では、リズムに乗って頑張るというめあてを立てました。上手にリズムに乗ってできたので、達成感がありました。 玉入れでは、玉を上手に入れられるように、投げることを頑張りました。たくさん籠に入れることができたので、うれしかったです。
３の１	ぼくは、運動会で、スーパーマリオブラザーズのダンスをおどりました。ぼくがマリオダンスで一番がんばったところは、たい場のところです。左手に箱を持って走るとき、落とさないようにするのがむずかしかったです。持ち方をかえて、手のひらとひじの内がわを使うようにしたら、うまくいきました。 おどりでは、動きを大きくするようにしました。見ている人が、ぼくたちが何をしているのか、よく分かるようにするためです。お母さんに、「すごかったね。」と言われてうれしかったです。がんばって練習してよかったと思いました。 とても楽しい運動会でした。
３の２	マリオのダンスでは、箱をとなりの子になげました。練習のときは、何度も落としてしまったけれど、本番のときは上手になげられました。箱を上になげて、キャッチするえんぎは１回もおとさずにできました。　たいじょうずるとき、おばあちゃんが「がんばったね。」と言ってくれました。お母さんも、にこにこしていました。 さいごに、８０メートル走をしました。はじめてカーブを走るのでドキドキしていたけれど、ころばなかったので、よかったです。上手に体をかたむけたり、足もとだけでなく遠くを見たりするようにしました。おおや先生が「かっこよかったよ。」言ってくれました。とてもうれしかったです。

４の１	私はこの運動会から学んだことがあります。最初は失敗しないかとても不安でした。ダンスは好きだけれど、失敗すると恥ずかしいし、自分も嫌な気持ちになるので、上手にできない自分が嫌でした。でも、何度も練習するうちに「失敗を怖がるだけでなく、ダンスを精一杯楽しんだ方がいいのではないか」という考えです。ダンスは失敗を怖がりながらやるものではなく、楽しさを味わいながらやるものと考えました。そうすると、ダンスがぐんぐん上達しました。今までの考え方を変えるだけでこんなに成長するのかと思いました。８０ｍ走や玉入れもくやしいところはありましたが、いつもより頑張ることができた自分に感動して、とても成長できたと思いました。
４の２	運動会のダンスは曲のリズムが速くて、覚えることがいっぱいあったけれど、みんなでそろえて楽しくおどることをめあてにしてがんばりました。本番も、笑顔で一つ一つの動きを大きくおどれたし、三つのポーズもしっかり決められてよかったです。 今年は、玉入れがありました。玉がたくさん入るように工夫しました。そうしたら、練習の時よりも自分で入れられた玉の数が多くて、うれしかったです。 今回の運動会ではみんなで協力し合うこと、目標をもって挑戦することが大切だと思いました。これからの学校生活に生かしていきたいです。
５の１	練習時間が短かったけれど、練習を積み重ねていくうちに、どんどん高学年としての演技ができるようになりました。また、みんなで協力しながら工夫することができました。 本番では、見ている人が笑顔になるような演技をしようと、がんばりました。 今回の運動会では、協力することの大切さを学びました。５年生全員が一つの演技に向かって協力したからこそ、高学年としての演技を見せることができたと思います。これからも、音楽祭や移動教室などで、みんなと協力して生活していきたいです。
５の２	練習時間が少なかったけれど、考えられないぐらいうまくできてよかったです。みんなが拍手してくれてすごくうれしかったです。お客さんも自分も楽しめたのが一番よかったです。 本番ではきれいに旗の音がそろっていたと思います。間違いも少なく、練習よりきれいに踊れて、頑張れたと思います。 運動会では今まで以上にみんな一人一人そろって旗を振ることができたと思いました。みんなで気持ちをそろえることをこれからの生活に生かしていきます。
６の１	運動会当日は出ることができず、悔しかったですが、練習では、めあてに向かってがんばりました。女子で三人技、五人技などの組み合わせを決めるときなどに、自分の意見を言ったり、真剣に考えたりして仲が深まったと思います。これからも女子で協力したいです。 今回の運動会では、休みの人もいる中で組体操をしたけれど、ピラミッドは慣れないメンバーでも成功できたし、拍手ももらえてうれしかったです。また、白組の全員で応援できたこともよかったです。協力の大切さや団結力を学びました。 ぼくは補助倒立を練習して、ほとんど決められるようになりました。これからも、こつこつと積み重ねることをやっていきたいです。
６の２	組体操の一人技は、タイミングを合わせて技も成功できたのでよかったです。集団技では、休みの人もいて練習と位置が変わってしまったけれど、「休みの人の分もがんばろう！」とはげまし合ってできました。上に乗る人のことも考えて行動し、納得いく表現ができました。係は、最後の結果発表のときにゆっくり、はっきり言うことに気を付けました。徒競走では腕をふって速く走れるようにがんばりました。団体競技の綱引きは、赤白全体としての勝敗は分かっていましたが、スローガンの「あきらめず」の言葉を意識しました。めあてをもって今回の運動会の係や表現に取り組みましたが、特に集団行動でのことを忘れずに、これからの生活でも協力して生活したいです。